

國學院大學學術情報リポジトリ

〔談話室〕 柳田折口と國學院への感謝

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 新谷, 尚紀, Shintani, Takanori メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00000465

柳田折口と國學院への感謝

新谷尚紀

いまから九年前、二〇一〇年四月、國學院大學に着任しました。そのときに要請されていたのは、(一) 國學院大學が民俗学の一つの拠点としてその役割を果たしていくこと、(二) 民俗学が人文学全体の中でその存在意義を明示していくこと、(三) 次世代をになう若き研究者を育成すること、という重い課題でした。佐倉の国立歴史民俗博物館での研究中心であり後継者を育てることのない環境から、育てなければいけない環境へという、大きな転換でした。

いくとせか みがかさねし まなびわざ あらたなるたね よよにつたへむ
ありがたき たびのめぐみに むくいむと でんしようがくの ひつぎささえむ

そのころの手帳をあけてみたら、こんな拙い、はずかしいメモがありました。うわあ、よほど気負っていたのでしょうか、若気の至り、苦笑以外にありません。

六十歳の還暦を迎えてからのこと、國學院でのしごとですから、柳田國男と折口信夫がいつも背後からみているという気持ちで、講義や演習や論文指導に取り組みました。しかし、現実はそんなに甘いものではありませんでした。いろいろな苦労のなかで、やがてとてもたいせつな発見に出会いました。知識がなくてもいい、知的な探求心さえあれば、研究の「方法と方向と」をきちんと教えるだけで、若者たちはどんどん伸びていく、ということ、たくさんの方々の事実から体験的に発見したのです。

七十歳の古稀を迎えたいま、そんな若い人たちの研究成果を学術世界に広く知ってもらいたいと思つて刊行したのが、『民俗伝承学の視点と方法―新しい歴史学への招待―』（吉川弘文館、二〇一八年二月）という論文集です。國學院大學の民俗学が学界と社会に向けて少しばかり誇れる若い世代の七本の論文を取めています。ぜひご一読ください。いまそれに

続く次の院生たちも確実に育ってきています。その流れの今後に大いに期待しています。

一方、國學院大學に来てあらためて考えさせられたのは、博士（民俗学）の学位についてでした。國學院は、世界で唯一、民俗学の博士の学位を出す大学です。では、その民俗学の中身は、そして英語名はどうなっているのか、それが気になりました。かつて、科研でフランスの民俗調査研究を二十年近く進めてきた自分の経験からいえば、フランス・アカデミーなど国際的な学術世界では、フォークロアFolkloreのPh.Dはありえませんが、フランス・アカデミーに招聘されたとき、自分の専門をEthnologyだといわれたのに対して、それを強く拒否してFolkloreだと言い張り、関係者を困らせたという苦笑い話を、私の友人でアカデミーの会員であるジャン・ノエル・ロペールさんからよく聞かされました。フランス・アカデミーでは、学問として認定されていないFolkloreの人など、招聘できるはずがないのです。

日本民俗学を創始した柳田國男は、フランス語のtradition populaireを民間伝承と翻訳して、自分の学問はその民間伝承の学だといっています。折口信夫もそれをよく理解していました。民俗学という名乗りがいま一般に流通しているのは、日本の民俗学の歴史の上からみて、あくまでも世俗の上での方便によるものでした（『民俗学とは何か』吉川弘文館、二〇一、「日本民俗学と國學院大學」『國學院雜誌』一一八—四参照）。ともに國學院の教授であつた柳田と折口が創唱した日本の民俗学とは、生活文化の歴史展開の中の、traditions伝承とtransitions変遷という、両者の動態を研究する立体的な歴史科学という独創的な学問でした。より正確にいえば、民俗伝承学The Study of Traditions = traditionologyと名乗るべき学問でした。イギリスのFolkloreやドイツのVolkskundeの翻訳学問などではありません。しかし、そのことをよく学ばないままに、日本民俗学会はいまでもThe Folklore Society of Japanと名乗ってしまっています。

しかし、國學院大學が認定する民俗学の博士号は、Folkloreと英語表記してはいけません。それでは、国際的にも学際的にも國學院の民俗学の独自性を正しく説明できないからです。柳田と折口の民俗学つまり民間伝承学を中心に据えるのが國學院大學の民俗学です。その博士号は、民俗伝承学の学位であり、英語ではThe Study of Traditions = traditionologyと表記すべき研究分野の博士学位なのです。これから國學院が輩出する若い研究者たちによって、いまはまだイタリック体ではないtraditionologyが、やがて国際的に承認されるローマン体のTraditionologyとなり、民俗伝承学としての名乗りと実態と基盤とを、国際的に学際的に確実にしていくその日が来ることを、心から期待しています。

（民俗学）